もったいない! 未来のために
母の視点で よりも で見直し
次世代に借金、リスクを残さない

県議会議員 西村久子 県政報告

第46号

発行 西村久子
彦根市甲崎町
TEL・FAX 43-4700
Eメール hisako@country-farm.net

今日 よりも 明日

2020年東京オリンピックの開催や、2024年滋賀県での国民体育大会の開催が内々定したこと、また、地域においては永年の念願であった湖東三山スマートインターチェンジの開通、さらに年末、日本食の世界無形文化遺産認定など、大震災でうち沈んでいた私たちにとって、久々に感動を味わえた一年でありました。

しかるべき大イベントに活躍の期待される若い世代に、大きな目標の出来たことは、とてもうれしいことです。彦根出身の桐生君や小谷君の陸上での活躍、小中学生の皆さんに身近なところでヒーローの出現は、素晴らしい目標となりました。夢は大きく高く羽ばたいていただきたい。

いよいよ本年は、稲枝駅の改築工事が始まります。平成27年度中の供用開始を目指し、東西駅前広場整備と併せ二年がけの大事業で、エレベーター、エスカレーターを設置したバリアフリー対応の駅舎、きっとご利用の皆様に納得していただけることと期待しています。

駅舎改築に合わせ、旧愛知郡としてのつながりが湖東三山インターへと夢が広がります。琵琶湖岸から湖東平野を東西に結ぶパイプは、必ず湖東の将来に繁栄をもたらしてくれることでしょう。少子化時代になって、なおさらに、頭脳を鍛えた地域の若者の、本領発揮の場が近在に必要です。クリアーすべき課題は山積ですが関係する湖東地域の皆様と力を合わせ、未来に明るい湖東を開いていきたいものです。

11月定例議会一般質問より抜粋…

続くトラクターの盗難について（答 警察本部長）

秋の取り入れを終えてホッとする間もなく、農家では麦の播種作業が行われ、来年の耕作に向けて整地や畔飛ばしなど、トラクターの出番が目立ってきた10月の頃より、大型機械トラクターの盗難が相次ぎました。

農家にとって、トラクターのような大型機械は、生産現場の必需品でとても高価なもの。最近の農業の現場は集落営農、あるいは法人、個人であっても大規模経営がその主力で、当然、耕作面積は20～70haととてつもなく広く圃場分布は4～5kmと拡散しています。

トラクターは大型機械であるのと、その作業の性質上、一日の作業を終えるとその田んぼに置いたまま帰宅、明日の作業へと継続することとなります。エンジンキーを抜き、ドアやハンドルをロックされていても気が付けば姿かたちはなく…といった状態があちこちで起こると、どの経営者もいつ我が身にと心配でなりません。「朝、社員からケータイが入ると、「やられたのか?」と、ドキッとすると話しておられます。

これだけ新聞テレビで報道されているのに、用心せずに盗られる方が悪い…とお感じになるかとも思いますが、とにかく安心して耕作ができるようにしていただきたいのです。

トラクターを所有する農家の特性として、

1. 大規模経営体であるため、作業場や格納庫は、集落から離れていること。
2. 大型であるため格納庫といえども、出入りがしやすい場所、また、ひさし等外からはよく見える状態が多いこと。
3. 格納庫にあっても田んぼにあっても、広い道路に面していること。

…等、泥棒にとっておあつらえ向きになっています。

持ち運びに大変なあんな大きなものを、誰の目にも触れないでまんまとせしめる窃盗団ですが、あっけにとられているわけにはいきません。被害は甚大なのです。先行き不透明の農業経営にとって、機械をとられたからと新しいトラクターを何百万もかけて買う体力はありません。たとえ買い換えたにしても盗難防止の決定的なもののない状態では、また盗られる可能性は否定できないのです。被害は広域に亘っています。先日三重県で逮捕の報道がありましたが、その後も新聞で窃盗の続いていることを知りました。逮捕されたたった3人でできる仕業ではありません。捕まえてほしいのです。被害の実態や発生の状況、防止できる方法などお教え願います。

答 トラクターの盗難被害の実態等について、本年はこれまで、湖東地区や甲賀地区を中心に、県内で58台が盗まれ被害額は２億円を超えており、特に秋以降に被害が集中しています。現在は被害の発生がほぼ止まっていますが、これは、先般、本県ほか、三県警察の合同捜査により、外国人犯人グループを検挙したことの効果であると考えています。

なお、今回の一連の事件の手口は、例えば、トラクターを倉庫に収納して施錠し、さらには、その前を自動車でブロックしていたとしても、鍵を切断するなどして、狙ったトラクターを盗むという、計画的、大胆かつ大掛かりなものです。

この種の被害の防止について、農耕車には乗用車のような盗難防止規格は存在しておりません。そこで現在、一部の府県警察がメーカーに対し、個別エンジンキーの採用、イモビライザーの設置、タイヤロックやハンドルロックの開発等を申し入れており、滋賀県警察としても、同様の要請をしていきます。

その際には、今回の事件の手口等を踏まえ、現在市場に出ている防犯器具より大幅に防犯性能を向上するよう求めてまいります。

さらに、農協・農家への注意喚起や、自主防犯団体とのパトロールも実施し、併せて今後同様の事件を企てるグループの検挙を迅速に行えるよう、犯行グループが盗難車両を処分する場所であるヤードへの対策や、広域犯罪に対処するための捜査支援システムの整備等も必要と考えています。

この種の事件の捜査、検挙には、多数の捜査員を投入する必要があります。一方で県警察の人的体制は厳しい状況にありますが、県民に不安を与えている深刻な状況でありますので、犯人グループの検挙に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

あなたの声を県政に！ いのちとくらしを守ります

編集・発行／自由民主党・滋賀県議会議員団

自由民主党 LIBERAL&DEMOCRATIC 滋賀県議会議員団 県議会レター

謹賀新年

明けましておめでとうございます。
県民の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
昨年は東京オリンピック・パラリンリックの招致が決まり、日本中が喜びに沸く一方で、台風18号の豪雨により本県は甚大な被害を受け大変な年でもありました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、この災害を教訓に安全で安心して暮らせる県土づくりを進めて参ります。
我われ会派は、皆様からいただいた声を活力に県政課題に取り組んで参りますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

自由民主党滋賀県議会議員団　議員一同

11月 代表質問要旨

質問者 小寺裕雄（東近江市）

Q 平成26年度予算編成方針について

A 予算の編成は歳入の動向に十分留意し、歳出は「選択と集中」を徹底する。事業の実施時期や規模など十分精査し、基金積立など将来の財政運営に支障のないよう進める。

Q 滋賀県危機管理センターについて

A 防災関係機関や団体が一堂に集結し、迅速・的確な災害応急対策を展開していくための県の拠点として、県民総参加で「安全安心の拠点」となり、かつ「情報受発信の拠点」となるよう、ハード・ソフトの両面から充実を図る。

Q 第四次環境総合計画について

A「低炭素社会の実現」を目指し、再生可能エネルギーの導入を一層進め「生活、家庭領域」分野などにおける省エネ・節電の推進にも一層力を入れる。琵琶湖の健全性確保は本県の最重要課題で、健全で質の高い琵琶湖を次世代に引き継いでいくため行政、研究、住民、三位一体の取組を強める。

Q 水源地の森林保全について

A 山林荒廃、文化的・学術的価値の高い巨樹・巨木の保護や山村の過疎化にともない林地境界不明確など、新たな課題への対応が喫緊に必要。条例改正に向けては来年度中の議会提案を目指す。

Q がん対策について

A 関係各分野、官民一体となって、患者と家族の不安の解消や生活と治療の両立ができる施策を進め、医療機関だけでなく民間企業、関連団体における取り組みを幅広くコーディネートしていく。

Q 福祉しがの提案について

A「誕生前から看取りまで」人生に切れ目のない対策で、民間法人の皆さんの心強い決意表明と受け止め、提案の趣旨を踏まえ「生活困窮者自立支援法」、「子どもの貧困対策推進法」など新たな制度の枠組みや在宅看取りの成果も活用しながら、官民協働の取り組みを進める。

Q 聴覚・コミュニケーション医療センター構想について

A「聴覚器医療」の先駆的な研究と開発、加えて「聴覚・コミュニケーション医療」の確立を目指す。聴覚検査機器、人工内耳の機器開発や創薬開発を、病・産・学・官連携して推進し、先導的な役割を官民連携のもと県として果たしていく。今後、医工連携を推進し、この構想の実現へ向け取り組む。

Q 中小企業の活性化に向けた平成26年度の取組の方向性について

A 小規模事業者の販路開拓などの取組みの支援、人材育成、制度融資といった「経営基盤の強化」「海外展開」など支援する。県の施策を中小企業者や県民向けの周知にも一層積極的に取り組む。

Q 台風18号に伴う県内農水産業の災害復旧について

A 国の災害復旧事業は、激甚災害に指定。県単独災害復旧事業に補助率5%を嵩上げし、補助対象地域を県下全域に拡大。市町、土地改良区に技術指導、職員派遣を行い、来春の作付け作業に間に合うよう精一杯支援する。災害によってエリ・ヤナ琵琶湖漁業の伝統が途切れることのないよう、前向きに支援する。

Q 滋賀県流域治水の推進に関する条例案について

A「河川整備」は具体的な河川改修や維持管理を内容とした河川整備の5ヶ年計画を策定し基幹的な治水対策として位置付け、計画的かつ効率的に取り組む。「建築制限と罰則」は建築制限により河川整備がなおざりにされるのではなく区域指定は、地域の合意形成の下で策定される。罰則は地域のルールが守られている限り、適用されることはきわめて少ない。今回の説明会を通して現場の生の声を真摯に受け止め、それぞれの地域特性に応じた流域治水政策を責任をもって推進していく。

Q 国民体育大会の開催の諸課題について

A 市町立の体育施設について来年度以降、競技会場を決定していく過程において施設改修などの規模や内容が明らかになる。できる限り早い時期に、先催県の事例も参考にしながら支援の内容を詰める。ジュニア世代の育成については次の世代を育てる好循環の創出を目指す。今後、競技力向上に向けての計画を策定、指導者の確保、育成や資質向上に向けた方策を具体的に盛り込み、確実に実施できるよう努め、天皇杯・皇后杯が獲得できるよう、全力で取り組む。

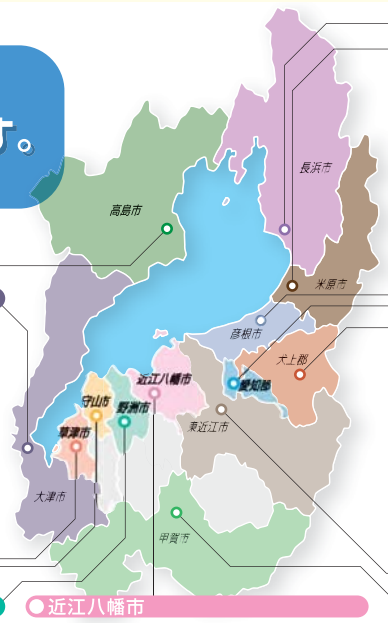
Q 警察施設の整備と人員確保について

A「防災上特に重要な施設」のうち、耐震性に問題がある庁舎は、平成29年度までに新築又は耐震補強工事を進める。警察官一人当りの負担人口を全国平均と同水準にするためには今後約600人を増員する必要がある。警察官の増員は、本県の安定的な治安維持の前提条件であり、今後とも警察庁などへの増員要望を強める。

皆様の声を県政に届けるため 21名 全力で頑張っています。

私たちにご意見・ご要望をお聞かせください。

（　　）内は期数



米原市

辻村　克(5)　つじむら　まさる

赤堀 義次(4)　あかほり よしつぐ

長浜市

野田 藤雄(2)　の　だ　ふじお

川島 隆二(2)　かわしま りゅうじ

高島市

石田 祐介(3)　いしだ　ゆうすけ

大津市

佐野 高典(4)　さ　の　たかのり

山本 進一(1)　やまもと しんいち

佐藤 健司(1)　さとう　けんじ

犬上郡

大野 和三郎(1)　おおの　わさぶろう

愛知郡

宇野 太佳司(1)　う　の　たかし

彦根市

西村 久子(2)　にしむら　ひさこ

細江 正人(1)　ほそえ　まさと

草津市

奥村 芳正(2)　おくむら よしまさ

守山市

岩佐 弘明(1)　いわさ　ひろあき

野洲市

吉田 清一(5)　よしだ　せいいち

近江八幡市

有村 國俊(1)　ありむら くにとし

高木 健三(1)　たかぎ　けんぞう

甲賀市

家森 茂樹(5)　やもり　しげき

富田 博明(1)　とみだ　ひろあき

東近江市

宇賀　武(3)　う　が　たけし

小寺 裕雄(2)　こてら　ひろお

議員提案による「滋賀県がん対策の推進に関する条例」制定

全ての県民が健康に安心して暮らせるよう、がん予防を推進しがん検診の受診率を向上させると共に、がん患者本人の意向を十分に尊重した良質な、がん医療を提供する体制を整備するなど、がん対策を推進することを全議員決意し、議員提案により制定されました。

【滋賀県議会議員団事務所】〒520-8577 大津市京町4丁目1-1（滋賀県庁内） TEL.077-528-4010　FAX.077-528-5110　http://jimin-shiga-kengidan.jp/